

100年前に発表されていた 神戸・兵庫産糞虫についての文献*

高橋 寿郎

最近筆者は東京の Bauer & Sato Japan 社から100年前(正確にいうと99年)に出版された次の文献を入手することが出来た。

H.D'Orbigny. Synopsiss des Onthophagides
Paléarctiques

Extrait de L'Abeille, tome XXIX, 1898.

タイトルのとおり、旧北区の Onthophagini 類の一覧表というもので、検索表形式で分類・記載をされたものである。発表紙がどういったものであるのか浅学の筆者にとっては初めてのものであった。たまたま手許にあった J.L.Gressitt & J.J.H.Szent-Ivany の Biogeography of New Guinea, Entomology. Pacific Insects Monograph, 18, 1968 の文献解説の初めての所で(p.579), Abeille-L'Abeille, Paris(1864-1945) とあった。

即ち、パリで1864-1945年の間出版されていた機関誌で、そのXXIX巻特別号になるのではと考えるが、どなたか御教示頂ければ幸いである。全部で138p., 収録されている種は147種(*Caccobius* 10種, *Onthophagus* 130種, *Liatongus* 2種, *Onitocellus* 5種)であり、これらを検索表形式で記載文としたもので、図は一つも入っていない。しかしながら、日本産も多く含まれているが、さらに種によっては神戸、兵庫の産地名のハッキリと示されているのがある。即ち、神戸産糞虫の文献としては筆者にとっても初めて見ることの出来た文献であると同時に、この文献によって神戸産が初めて示された種もあるわけで、此処にそれらを紹介しておきたいと考えた。

V.Balthasar が1963年に出版した Monographie der Scarabaeidae und Aphodiidae der palaearktischen und orientalischen Region 2 の中で

は勿論日本産も含まれているのであるが、分布とか産地については Japan とか Japan(Honshu) との表示はあるが、具体的な産地を日本産で示したものはあまりない(例えば, *Onthophagus ohbayashii* Nom. は Hiroshima と産地を示しているが···)。分布を大きく把握しようとしていることは、勿論それはそれでよいのであるが神戸・兵庫産としてみた場合はものたりない。それでもこのシリーズの (1) p.217 にて *Gymnopleurus stipes japonicus* Balth. einem exemplar aus Japan: Mukogawa, Landbezirk Hyogo(Hyogo-ken) beschrieben (Holotypus) といった記録が入っていて驚かされたりする。

さて、ここで紹介する H.D'Orbigny の文献で神戸・兵庫とはっきり産地の示されているものを次に記しておく。9種あり、そのうち6種がこの文献で初めて神戸・兵庫の産地が示された種であり(番号をまるで囲んである種)、その他はこの文献発表までに神戸・兵庫の記録がある種で、その記録を此処では引用したものである。

神戸・兵庫とはっきりと産地を示された種のみ次に記しておく。

p.129. ④. *Caccobius microcephalus* Har. = *C. jessoensis* Har.

マエカドコエンマコガネ

Japon: Tokio(Hilgendorf, d'après Harold), Yokohama(Mellotée, coll. Bedel!), Kobe(coll. P.Nadar!)

p.130. 6. *Caccobius brevis* Waterh.

ヒメコエンマコガネ

Japon: Hiogo, Ohosaka-(D'après la description de Waterhouse)

* 兵庫県甲虫相資料・317

- p.144. ⑫. *Onthophagus ater* Waterh.
クロマルエンマコガネ
Japon: Yokohama(coll. Bedel!),
Kobe(coll. P.Nadar!), Kio-Siou
(dâprès Waterhouse)
- p.145. ⑬. *O. Lenzi* Har. = *O. lenzii* Har.
カドマルエンマコガネ
Japan: Yeso(dâprès Harold), Hio-
go(dâprès Schönfeldti), Kobe
(coll. P.Nadar!), Coŕee, Chine.
- p.146. ⑭. *O. nitidus* Waterh.
ツヤエンマコガネ
Japon: Hiogo(dâprès Waterhouse),
Kobe(coll. P.Nadar!), Nagasaki
(dâprès Waterhouse), ile Ishi-
gaki du groupe des iles Yaeyama
(coll. R.Oberthûr!)
- p.146-147. ⑮. *O. viduus* Har.
マルエンマコガネ
Japon: Osima(coll. R.Oberthûr!),
Yokohama(coll. Bedel!), Kobe(co-
ll. P.Nadar, type et var!), Kio-
u-Siou(dâprès Harold), ile Ishi-
gaki du groupe des iles Yaeyama
(coll. R.Oberthûr var. seulement!)
- p.147-148. ⑯. *O. atripennis* Waterh.
コブマルエンマコガネ
Nord de la Chine: Pekin
Japon: Hiogo(coll. R.Oberthûr!),
Kobe(coll. P.Nadar!), Kio-Siou
(dâprès Waterhouse), ile Ishi-
gaki du groupe des iles Yaeyama
(coll. R.Oberthûr, var. *apicetin-*
tus seulement!)
- p.165. 47. *O. ocellatopunctatus* Waterh.
アラメエンマコガネ
Japon: Hakodate(G.Lewis, coll.
Bedel!), Hiogo(dâprès Waterhou-
se et coll. R.Oberthûr!)

- p.197. 98. *O. japonicus* Har.
ヤマトエンマコガネ
Japon: Yokohama(coll. Bedel!),
Hiogo(dâprès Waterhouse), Oho-
saka(dâprès Waterhouse)

以上のうち、現在兵庫県下にいるのかいないのかわからない種が2種あり、他の種は *Caccobius* 属の2種がわりと採集記録の少ない種であるが、他の *Onthophagus* 属の種はほぼ現在でも注意すれば得られる種と考えられる。

100年前にこのような神戸の糞虫についての知見があったことに驚いている。(1995・X 記)

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

ムナクボハナカムキリの 音水溪谷での記録

田中 稔

ムナクボハナカムキリ *Xenophyrama purpureum* Bates は、原色日本甲虫図鑑(IV)によれば「古い体のしくみをもつ1属1種、……個体数は少なく西南日本及び九州に点々と分布する。……」となっているが、本種を筆者の実弟、田中勇氏が音水溪谷で採集しているので記録しておく。

1♂ 兵庫県宍粟郡波賀町音水溪谷 22.VI.
1994 田中勇採集

同氏によれば、「シコクヒメハナカムキリの調査でカツラのひこばえの見回りを続けていたところ、目の高さで静止している個体をネットインすることができた。また、同所で過去に蜘蛛の巣にかかっている本種を得たことがある。未確認ではあるが、扇ノ山において複数のムナクボハナカムキリを蝶屋さんが採集しているが未発表と思われる。」とのことである。

記録の報告を委ねられた田中勇氏にお礼を申し上げます。

(TANAKA MINORU 西宮市西軒町8-7)